



No.1106
3月号

2016
March

丘の大地

JAびえい・広報誌



～進む戦略品目「加工玉ねぎ」の処理・出荷～

— 2/24 JA加工玉ねぎ貯蔵加工処理施設の作業から —

- 機構改革のあらまし2～5
- TPPに負けない6～7
- 青年・女性部総会8～9
- 情報カン13～14
- 人事異動15

J A 機構を改編しました

たくましい農業づくりに経営サポート

自己改革・規制改革と称しJA組織のあり方が幾度となく問われながら、農協法の改正がなされる一方、TPPは農業者や主食は自国で生産し国民の安全と自給の割合を高め農業農村の声を無視する方で大筋合意がなされてしまいました。JAグループをはじめ、農業農村は大転換を余儀なくされました。

今、農業協同組合がめざすことが改めて問われる中で、昨年のJA全国大会では、農業者の声を結集し「農業者の所得拡大」「農業生産の拡大・地域の活性化」を基本目標にして自己改革をして挑戦することをJAグループの総意として確認しました。加えて、JAグループ北海道としましても（北海道550万人と共に

魅力ある美瑛農業めざし

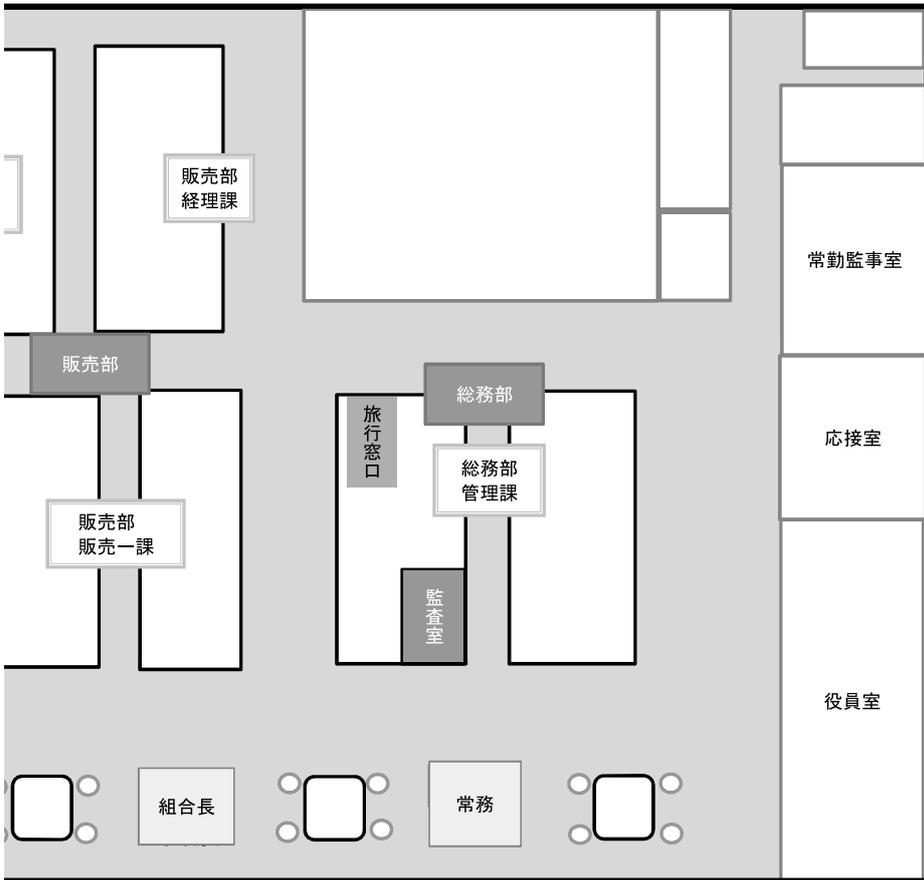
創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向け、大会の決議を確認したところです。これらメインテーマを基本に当JAとしても平成30年を目標年度とする振興計画と連動し美瑛町の豊かな魅力ある農村づくりを進めるものです。力強い農業とは美瑛町の基幹である農業の活性とふさわしい農業所得を確保して次世代に継承する持続可能な産業をめざすものであり、豊かな魅力ある農村とは、消費者や地域の住民の皆さんと「心の豊かさ誇り」をも実感できる農村づくりをめざし共有することにあると考えています。

営農販売体制をより強化します

平成28年度の事業計画につきましては、JA大会での決議を前提に種々内部協議を進めてきたところですが、

具体的に事業を進めるのは「人」であり、協同運動推進役としての役員であり、日常的にクオリティの高い対応を求められてきたところでありますが、ここにきて組織の改編も含めたより機能的な組織・体制づくりが急がれていました。

本所2階 事務所配置



**付加価値づくりを高度に
 保管・調整加工は施設部**

販売力の強化と農業者の所得確保は不離一体なことから相互の連携が日常的に行える体制づくりと致しました。従来の営農部に営農支援課と生産振興課の2課制と致します。

営農支援課は経営・生産・技術の各指導、組織活動に加え、これまで販売部が主体を担ってきた集荷業務は営農支援課が所轄します。

具体的には蔬菜を中心とする青果物・馬鈴薯・玉ねぎ・てん菜のほか米麦・豆類全般も集約し効率化をめざします。

品目ごとの生産部会事務局やこれに付随する各部会事業推進も同様となり、生産技術対策と集荷対策を連動させ、より高品質な農産物づくりをめざします。

販売部は、青果物・馬鈴薯・玉ねぎ・米麦・豆類・てん菜などの各品目を集約し、対応は販売一課で、マーケティングやブランド推進、商品開発や輸出事業など、いわゆる6次化関連については販売二課が対応します。

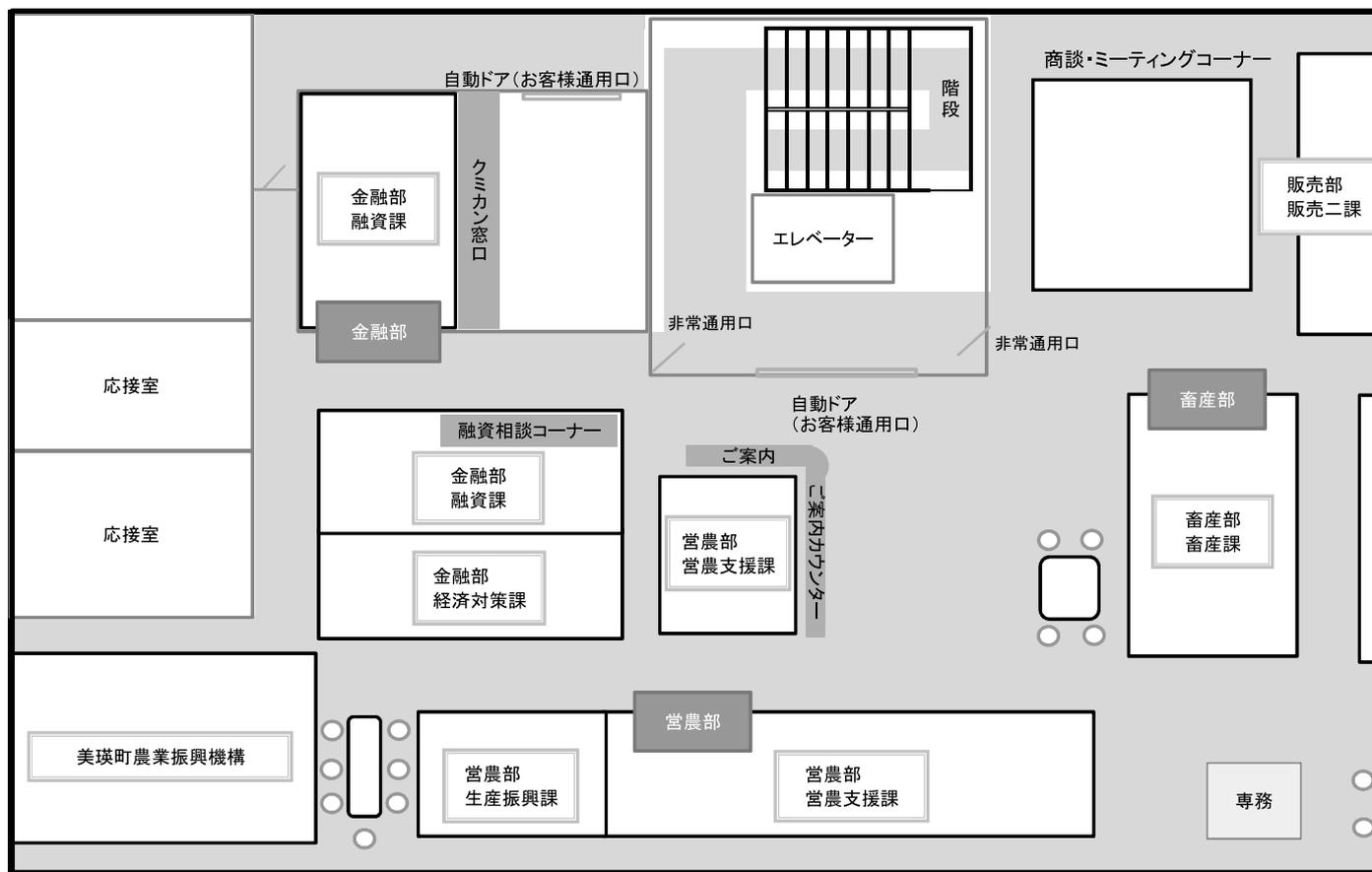
また販売部取扱い品目の生産者への精算事務全般は新たに経理課を新設し、買取品・共計品全般について集約し精算事務の迅速化が図られます。

**ワンフロア化で
 業務の効率化をめざします**

組合員の皆さんが生産・出荷する販売品の付加価値づくりは施設部を独立させ対応します。穀類施設・農業倉庫・育苗センター・民間検査農産物集出荷・保管など体系的に実施する内容です。

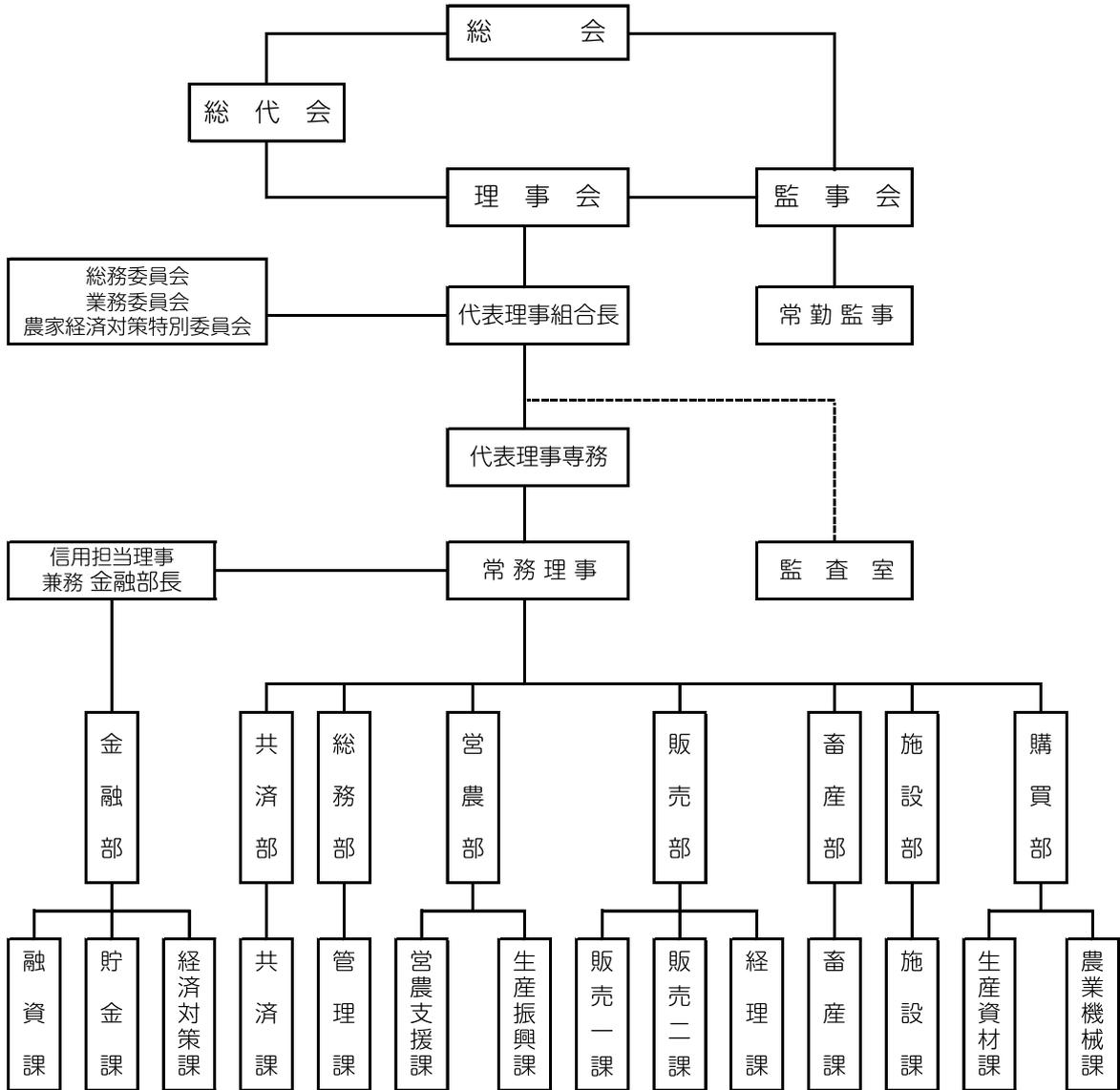
当JAの業務は本所事務所・大町事務所・農機部門と大きく大別されておりましたが、本所2階事務所を大幅に改修し、ワンフロアによる業務の効率化と指示系統の直下を大きな目的に、これまでの大町事務所販売部門は本所に移転致しました。大町事務所での業務は施設部施設課のみとなります。

なお、金融共済部は金融部に改称し、融資課、貯金課、経済対策課の3課となり、共済部は共済課が従来の業務を行います。詳細は別記の通りとなっております。



機能性を重視して組合員により密着した事業の推進 8部1室14課で組織強化します！営農販売一貫体制

組合機構図



組合員メリットをより前面に

考えております。6次化への取り組みと連動し、これまで培ってきた付加価値アップへの取り組みを基礎に、

発展的な方向と致しましては、JAも農業所得アップに向け最大限に配慮し、地域の特性や人的な資源を有効に活かすことと

農協改革の論議の経過の中で、農産物の有利販売や生産資材の有利調達最大の使命であるものその意識が不十分としております。

当JAと致しましても具体的な事業の実践項目をお示しいたしますが、その底辺にある主な考え方について次の通りとしております。

今回の機構改革のめざすひとつとして、組合員の皆さんの営農と生活の拠りどころとしてのJAが、自立した経済主体として組合員の皆さんにメリットのある事業運営をいかに進めるかにあります。

国は成長戦略のメニューを示し規制改革と称して農業・農協改革を強制し、一方では国民的な合意がないままTPP交渉において大筋合意に至ってしまいました。ここにきて各JA大会の機関決議を踏まえ、各JAでは、地域の特色を活かした実践的な戦略の構築を行うこととなります。

平成28年度職員部署配置図(2月15日付)

監査室	主任 永澤詩織	係 眞鍋啓太	畜産部	課長 大波 満
室長(兼務) 中村紀之	係 中村千代	係 大谷麻衣	部長 渡辺和也	係長 寺崎智春
監査室	係 太田香緒里	係 河上慶太	畜産課	係長 野々瀬之英
係 能登谷和紀	貯金課	再雇用 手塚和義	課長 佐藤 靖	係長 谷口朋子
総務部	店長 酒井公彦	再雇用 我妻孝治	係長 佐原健一郎	係長 神藤陽一
総務部長(兼務) 中村紀之	係長 三田村絵美	再雇用 津山和正	係長 高橋亨枝	主任 打田晴美
管理課	係長 清治幸生	技術相談員 高尾敏男	係 横山 溪	主任 佐藤公俊
課長 神子素賢一	係 中村詩央里	生産振興課	臨時 中田悦男	主任 舟木和弘
係長 浦島明美	係 能登谷愛美	課長 中野 宏	施設部	主任 水本鉄也
係 菅 章貴	係 草野有香	係長 松田充浩	部長 中橋勇治	主任 山田健太郎
係 真田美佳	係 本間智浩	係 高橋はるか	施設課	主任 森平笑理佳
嘱託 近藤めぐみ	係 江花 彩	再雇用 寺口秀美	課長 野尻和典	係 向山修平
臨時 曾我部敬子	経済対策課	販売部	穀類施設工場長 小山亜紀夫	再雇用 山田 実
臨時 東 裕子	課長 高橋正明	部長 鈴木勝也	主任 鎌田 陽	臨時 藤川義久
臨時 加藤利治	係長(兼務) 武田太郎	販売一課	再雇用 吉岡洋一	臨時 松田敏美
臨時 渡邊ともみ	係 友田博明	課長 井上匡史	臨時 高井康雄	臨時 山地永存
臨時 野村祐司	共済部	課長 佐々木昭大	臨時 工藤貢一	臨時 田村和行
◇美瑛選果	部長 近藤和文	Pセンター長 栢木貴志	臨時 新村 進	臨時 杉尾由香
総務部付部長(出向)(兼務) 佐々木一誠	共済課	係長 高橋沙緒里	臨時 古川智香子	臨時 後藤亜古
総務部付課長(出向) 加藤正樹	課長 佐藤 要	主任 中村英司	購買部	臨時 木本則雄
◇新千歳空港店	係長 佐藤秀治	主任 内田達也	部長 高橋 章	臨時 下司貴博
総務部付主任(出向) 白旗匠子	係長 鹿島豊大	主任 天野 瑛	生産資材課	臨時 安藤敏之
◇東京アンテナショップ	係 鳥取大二朗	係 工藤優佳	課長 大市和明	臨時 佐藤正志
総務部付嘱託(出向) 大西央人	係 友田 彩	係 中家良太	係長 三木信吾	臨時 小鹿雅美
◇美瑛アグリサポート	係 富田めぐみ	係 川崎雄作	係長 大滝麻美	臨時 藤田雅史
総務部付部長(出向)(兼務) 佐々木一誠	臨時 千脇 幸	臨時 青田麻衣	主任 菅野政輝	臨時 池野靖子
総務部付係長(出向) 武田光好	臨時 近藤美穂	臨時 青田奈々	係 吉川 晃	臨時 樋口昌仁
◇美瑛通運	臨時 常盤繭子	販売二課	係 山本 悠	臨時 鹿野はるみ
総務部付主任(出向) 安部千唱	臨時 橋本宏子	課長 鈴木紀寿	技術員 廣瀬 勉	臨時 谷 秋子
◇美瑛町農業振興機構	臨時 腰越直美	係 六鹿舞子	臨時 千葉美恵	臨時 山崎敦子
総務部付部長(出向) 渡辺隆史	営農部	係 長谷郁人	臨時 中村真理	臨時 伊藤多鶴子
総務部付係長(出向) 山本穂澄	部長 山田直樹	経理課	臨時 橋立あや	臨時 平間貞英
金融部	営農支援課	課長 小崎裕司	臨時 佐藤光晴	臨時 上田裕司
部長(信用担当理事兼務) 加藤 護	課長 平間尚貴	課長 植田隆彰	◇東京事務所	臨時 菊地敏明
融資課	係長 福積早苗	係 宮下水月		臨時 井内英男
課長 中山洋明	係長 武田俊彦	臨時 丸山令子		臨時 岩淵光香
係長(兼務) 武田太郎	係長 江花光春	臨時 松井あゆみ		
係長 川村直美	係 松下広樹	臨時 保田千恵美		

マーケティング手法を活用した有利販売戦略に結びつけるものであります。

結果的には広範な事業活動で高い収益性を実現し、組合員の皆さんへの還元(事業利用分量配当)と将来

の投資に充てるJAの財務基盤づくりによってより貢献度を高めることにあります。

また、農畜産物の有利販売に向け集荷品の大半が委託販売が阻害の要因のひとつ指摘されているものの、共計精算のメリットを活かしながら適切なリスクをとりながらリターンを大きくする販路の開拓を進めるものです。

さらに「買取販売」「直接販売」の取扱い拡大で、量販品・外食産業との結びつき、輸出拡大など多様なルートを探します。

具体的には統合直販事業(トータルダイレクト)の展開によりメリットの確保を図るものであります。

組合員の皆さんの生産資材コストをできるだけ抑えて供給する購買事業につきましても経営に直結する大きな課題です。

これまでと同様にJA組織優位性を活かして「予約購買」を基本として安定供給を進めるものであります。

仕入に係る価格の抑制に、調達先の多様化を進めながら利用者の満足度の向上をめざします。

加えて、新しい営農技術に対応したより専門性の高い相談員の配置のニーズから、生産資材課に相談専門員の配置を行い、多様な要望に応える機構の改革に着手したものです。

TPPに 負けない!

食料の安全性は

本当に守られるのだろうか

食の安全性について、政府は「科学的な根拠に基づき、加盟国に食品の安全(人の健康または生命の保護)を確保するために必要な措置をとる権利を認める協定(WTO/SPS)を踏まえた規定となっており、日本の制度変更が必要となる規定は設けていないので、日本の食品の安全が脅かされることはない」と説明していますが、これはとんでもない間違いなのです。

日本が不透明に科学的根拠に基づかない検疫措置で農産物を締め出していると考えた場合に、正常な科学的根拠を提示できないとすれば、変更を求められます。最終的には、I S D S(投資家国家間紛争処理)条項で提訴され、損害賠償請求で撤廃

—シリーズ3—



～鈴木宣弘氏～

東京大学大学院
農学国際専攻教授。
1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒。農林水産省職員、九州大学農学部助教授、教授を経て2006年9月から現在職。

食料貿易に関しては、一部の輸出産業の短期的利益や安い食料で消費者が得る利益だけで判断するのではなく、極端な食料自給率の低下による国家安全保障の問題。地域社会の崩壊、窒素過剰による国土環境や人々の健康への影響等、長期的に失うものの大きさを総合的に勘案し、国民的な議論を尽くすべきと主張されている。



に追い込まれることも想定しなくてはならないと考えられます。

また、牛肉の成長ホルモンは、発がん性のリスクが懸念されていて、日本での使用は認可されていませんが、牛肉関税が下がり、オーストラリア産や米国産が増えると、成長ホルモンを含有した牛肉の輸入がさらに増えることとなります。ある検査では、米国産牛肉は日本産の600倍もの成長ホルモンを含有していたとの報告もあり、驚いています。

EU各国は、成長ホルモンが入っているとして米国産牛肉の輸入を拒否しています。しかし、オーストラリア産については輸入拒否をしていないために、成長ホルモンが入っていないと勘違いをしている人が多い

のですが、実はオーストラリアがEU向け牛肉の成長ホルモン未使用を証明しているため、輸入が認められています。しかし、日本向けのオーストラリア産牛肉は特別な場合を除き成長ホルモンが入っています。

EUでは、米国産の牛肉を禁輸してから2006年までに、乳がん死亡率がアイルランド▲44%、スペイン▲27%、ノルウェー▲24%、ノルウェー▲24%と顕著に減少したとのデータもあります。

次に成長促進剤として使用されているラクトパミンという物質ですが、牛や豚の飼料添加物として米国、カナダ、メキシコ、オーストラリアでは広く利用されています。

この物質が人体にも影響があることはすでに確認されており、吐き気、めまい、無気力、手が震えるなどの中毒症状が表れます。特に心臓病や

高血圧の患者への影響が大きく長期にわたり摂取すれば染色体への影響が大きく、EU・中国・ロシア・台湾などでは使用を禁止し、輸入肉においても厳しく規制しています。

日本では、この物質の国内での使用を認めていません。しかし、輸入肉については残留基準値を設定していますが、検査は省略されています。

消費者は「農産物の関税が下がることは農業だけの問題でなく、国民全体の命、健康のリスクの増大につながる問題なのだ」ということをもっと強く認識する必要があります。

牛肉・豚肉の自給率はすでに40%であり、これが20%、10%と下がってからは、国産の安全なものを食べたいと言っても遅いのです。

次にBSEについて、2013年2月に輸入条件が緩和されてしまいました。防腐剤や防カビ剤の緩和は

日米2国間並行協議の重要項目にされています。また、遺伝子組み換え食品については食品表示をしない方向も考えられています。

不安な遺伝子組み換え食品

バイオメジャーのM社などはGM（遺伝子組み換え）種子をさらに拡大するためTPPをテコにGM食品の表示を無くすことに力を入れていきます。フランスのある大学がGMトウモロコシの給餌実験をしたところ、3カ月では給餌による異変はないとして安全との判断をしておりますが、ラットの一生分にあたる2年間給餌したところ、痛々しいがんの発生が確認されています。

人間はまだGM食品を10数年しか食べておりませんので、これが80年以上という人間の一生分を続けたらどうなるかについては、まだ実験段階ですので、消費者が不安を抱くのは当然のことです。

TPP以前に現場は疲弊

平成26年産の米価格低落は深刻で、農業経営の存続に関わる三重苦の秋となりました。青未熟米の大量発生に加え、収量、品質ともに良くなかった年度です。現自公政権の「新農政」には、農畜産物の販売価格が

低迷して農業者の生産コストを下回った場合、その差額を補填して農業者の所得を下支えする「右盤政策」として導入された戸別所得補償制度などを廃止して、収入変動をならす「ナラシ政策」に戻し、それを収入保険の形にして行こうという政策の流れがあります。

民主党政権時に導入されたものを白紙に戻していくという短絡的な発想だけでは現状は済まされないのです。「ナラシ政策」だけでは所得下落の歯止めにはなりません。将来計画が立てられないとの現場の声が戸別所得補償制度に結実したことを忘れてはなりません。しかも自公政権の「新農政」を進めた矢先の米価の暴落が仕組みの不満を物語っています。

我々の試算では戸別所得補償制度を段階的に廃止して、ナラシ制度のみを残して生産調整を緩和する「新農政」が着実に実施された場合、2030年頃には、9千9百万円程度の米価になり、約600万トンの需給が均衡、ナラシを受けても米価はこの試算よりもっと急速に事態が悪化することが想定されます。

一方で、コメの消費量は2000年〜2012年についての年齢別階層変化を嗜好別に見てみると、消費の減少と人口の減で2030年には600万ト程度が予測されています。生産の減少で地域社会の維持が

心配されているにもかかわらず、それでもコメは「余る」ことが予想されています。

そこで、コメから他の作物への転換、あるいは主食用以外のコメ生産の拡大が必要となりますが、非主食用米のうち最も力点が置かれている飼料米については、その需要先となる畜産部門の生産が大幅に縮小していくことが見込まれるため、生産しても受け皿となる畜産農業者が不足する事態も心配されます。

消費が伸びるのは、パンなどの小麦製品、チーズ・豚肉・鶏肉で、その他は減少し、飲用乳は3割以上、コメ、味噌、醤油が2割以上、牛肉・果物が2割程度、野菜は堅調で数%の減少が見込まれています。

総じて生産と消費の双方がともに、縮小基調を辿りますが、生産の減少幅の方が大きい「縮小均衡」も無理で自給率がさらに低下するものが大半であることは事態の深刻さを如実に物語っています。（表参照）

中でも豚・鶏肉は最も生産縮小幅が大きい一方で、消費の伸びは最も大きいので、需給ギャップが輸入で埋められるとすれば、豚・鶏の自給率の低下は著しいものとなります。

この表には、生産資材価格の高騰やTPP不安の影響は加味しておりませんので、これにTPPでのさらなる譲歩、岩盤を無くす農政改革、

農業組織の解体などが進められたら、農業現場はどうなってしまうのかと危惧されることです。

品 目 別 自 給 率

	2015年	2020年	2025年	2030年
コメ	98.94 99.86	102.08 102.61	107.55 106.56	115.35 111.80
小麦	9.75	9.85	9.94	9.85
大豆	5.83	6.02	6.06	6.00
野菜	71.79	64.34	57.75	52.00
果樹	36.35	33.86	31.80	30.14
ばれいしょ	60.35	54.12	48.69	43.89
生乳	64.22	60.24	56.36	52.62
牛肉	37.64	33.71	30.23	27.19
豚肉	34.46	22.97	15.68	10.96
鶏肉	49.72	37.00	27.91	21.23

資料：JC総研客員研究員姜菴さん推計。

注：コメの上段は2005-2010年データ、下段は2000-2005年データに基づく推計。その他は2000-2005年データに基づく推計。

J A 青年組織
 綱領を朗唱の
 部員の皆さん



第66回青年部
 定期総会

担い手の地域貢献

新部長に中野隼太さん(東瑛・美沢)

ブロック間の連携強化

美瑛町農業の将来をリードするJ A 青年部(大西智貴部長)の第66回定期総会が2月9日J A 大ホールにて行われました。

総会では参加者一同で「青年組織綱領」を朗唱し、挨拶に立った大西部長は「27年度は規制改革に端を発し、結果的にはT P P の受け入れ容認や農協法の改正によるJ A 改革など大きな転換年度であった。青年組織も現状を踏まえて未来へ繋ぐ」と述べ、続く浦島専務は「27年度の農業生産は所得面でも大きく貢献した。農業環境は大きく変化している

ものの、組織活動の中心を担う青年部の役割は大きい」と激励。

事業報告では、J A 上川地区青年部大会などの部員の活躍や、研修・食育を柱としたJ A ・農政活動等について報告されました。

事業計画では、担い手としてのJ A 青年部での地域活動を積極的に行うことを基本的な活動目標に置き「組織の強化/営農活動の確立/農協・農政活動の推進」実践項目を確認しました。

H 28 年度事業を推進する役員改選では、新部長に中野隼太さん(東瑛・美沢)を選任し、別記の体制が承認されました。

事業運営に
 意見を述べて



66回を数えた
 定期総会



平成28年度 青年部新役員の皆さん

(敬称略/<>内はブロック名)



常任理事 松原 幸司
 <宇莫別・朗根内>



常任理事 松村 義昭
 <北台・旭>



常任理事 藤原 要
 <東瑛・美沢>



副部長 福田 寿行
 <宇莫別・朗根内>



部長 中野 隼太
 <東瑛・美沢>



ブロック長 佐々木 優
 <北台・旭>



ブロック長 平松 勇人
 <宇莫別・朗根内>



ブロック長 増山 嵩明
 <東瑛・美沢>



ブロック長 菅野 豊浩
 <コタン・美馬牛>



監事 大波 太郎
 <コタン・美馬牛>

第8回定期総会 フレッシュミセス会 新会長に藤原よしみさん



JA女性組織の将来を担うフレッシュミセス会の総会が2月5日JAで行われました。総会では、27年度の事業報告や新年度の計画などが承認され、新会長に藤原よしみさんを選任し、別記の新役員体制で事業実施の中心を担うこととしていきます。

新年度事業では「仲間づくりへの取り組み・地産地消・食農教育の取組み、助け合いや子育て支援活動への取り組み」など6つの重点目標を確認しました。

具体的には、青年・女性部やJA組織と連携して活動を進めることとしております。農村女性組織として特に、女性の役割が重要視され、先の全国大会でも「女性の出番」が地域活性の柱としています。「いのち」「自立」「組織」を中心軸に新年度事業が進められています。

第63回女性部定期総会 新部長に坂田友子さん選任



女性部の定期総会が2月8日JA大ホールで行われました。第63回目を数えて開催された総会には60余名の部員の皆さんが参加。27年度事業や収支報告、新年度の事業計画や収支予算などいずれも承認されました。

新年度の事業方針として「農業とくらしを担う女性の立場から食の安全・農の大切さを訴える」ことを基本に組織強化・事業参加・生活を守る活動を重点目標に掲げ、新部長に坂田友子さん（美沢・置杵牛）を選任しました。

豊かな地域づくりの一翼を担う女性組織ですが、今回は支部活動のあり方について議論が重ねられ、慎重な意見交換の総会となりました。

平成28年度 女性部/フレッシュミセス会新役員の皆さん

(敬称略/<>内はブロック名)



監事 高橋 千里
 <東瑛>



書記 鹿島 春美
 <北台・朗松内>



副部長 江花 恵
 <瑠辺薬・旭新・水沢>



部長 坂田 友子
 <美沢・置杵牛>

女性部



監事 中澤 明美
 <美馬牛>



書記 藤田 絵里
 <コタン>



副会長 飯原 紗織
 <北台>



会長 藤原よしみ
 <美沢>

フレッシュミセス会

第28回JA北海道大会
パネルディスカッションから

道農業の針路



株式会社セイコーマート

(まるたに ともやす)
社長 丸谷 智保 氏

所得増につながるより強固なプラットフォームへ 平成30年にむけて激論を

JA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJAグループに期待すること」をシリーズで紹介いたします。

第2回は、丸谷智保氏他の提言を紹介いたします。

流通機構、構造を簡素化して中間マージンの排除

セイコーマートグループ全体で農業法人として108haを耕作しているが、農業における流通機構、構造をより簡素化して、中間マージンを排除し、農業所得に振り向けることが重要だと思っております。

そのためのより強固なプラットフォーム

また、プラットフォームである農協が商品の価格を評価し、即買い取り、即支払う仕組みを作ってはどうか。資金繰りの向上につながる。

その他に、農繁期の人材の確保、販路拡大。これらは今でもやっているが、より強固にしたい。

そして安定供給、物流面での大胆な提言、これは政府に対してもやっていく。こういったことをすべき組織としてより強いものを作っていきたいらどうか。

戦から外交戦略へ

平成30年に向けて激論をし、結論を出してほしい。もうその時期に入っている。これから平成30年の大会に向けて、守るとか防衛するという戦をするのではなく、外交戦略・外交交渉をすべきではないか。

戦と外交の違いは、戦は勝つべき戦だが負けるかもしれない。外交は100%はとれないが、最低限守るべきものは守る、あるいは主張すべきものは主張してやる、ということ。

そういったことを踏まえた真摯な議論・激論、そして結論を出すことをご提言申し上げたい。

今回、所得増の具体的な数値目標を掲げたのは素晴らしい。議論を尽くして、2つでも3つでも具体論に結び付ける。やって、だめだったらまたやる。物流を見直す、法律化する、政府から

引き出す。例えば、農産物を運ぶのに高速道路を使えば夕夕にする。フェリー代を安くすれば、競争力のある農産物をもっと本州に出せるかもしれない。所得の分配に結び付く具体的な議論をして一致団結してぶつける外交交渉に入っていくべきではないか。

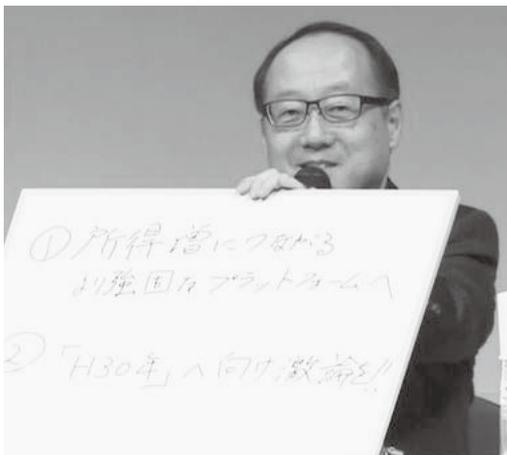
最後に一言

セイコーマートでは、ほとんど北海道の原材料、農産物を使っており、大地の恩恵をものすごく受けていると感じる。北海道は特別な地域だが、中央では、ひとくくりに見られている。550万人のサポーターを味方につけて、北海道から日本全国の農業の重要さを、ぜひ組織力を発揮して発信して頂きたい。

海上輸送の効率化

我々も物流には苦労している。遠い農村から市場の都市あるいは首都圏へ物流するコストは非常に大きい。北海道は、どうしても海上輸送が必要になるが、これを効率化する。

そういう意味でも組織の意味は強い。効率化を進めることで、所得を増加させ、配分を変えていく。



① 所得増につながる
より強固なプラットフォームへ
② 平成30年に向け激論を

第28回JA北海道大会パネルディスカッションから③

美しい農村景観の意味と価値 加工食品の材料にも北海道産



作家・エッセイスト
農林水産省・食料・農業・農村政策審議会臨時委員
北海道農業・農村審議会委員
森 久美子（もりくみこ）氏

美しい農村景観を守るため 輪作体系の教育を

景観について考える気持ちをお話ししたい。以前、写真で見た美瑛町の農村景観にびっくりした。この美しさは農業があるからこそだと気づいた。

東京に住んでいたころ、実家から届いた北海道の野菜をおすそ分けをする時、食べてみないうちに「北海道のよしよ、おいしいんだよね」と必ず言われた。その時、同時に農村景観の美しさや清涼な空気が、広大な土地をイメージして買っていると思った。

札幌市民あるいは道民は、当たり前すぎて、農業生産が行われているからこそその風景だというありがたみが欠け

ていない。

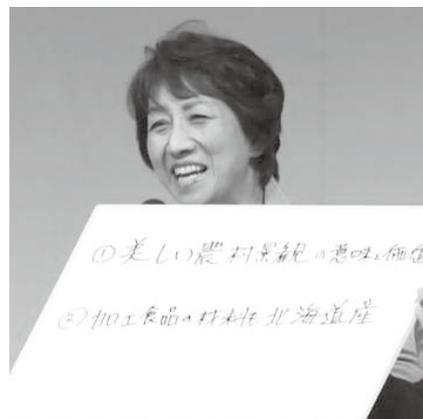
「50歳でもあると思うがこの景観」というのは、半分は冗談に聞こえるかもしれないが、かなり本気で思っている。農業が継続されないと、この景観を失い観光客も来なくなり、経済でも北海道は行き詰る。

それではどうすれば良いのか。食糧教育の分野で、みなさん個人個人は頑張っている頂いており、農作業のご苦労や、なぜおいしいのかという話はされるが、案外、輪作体系を教えている機会はほとんどないのではないか。

去年と同じ農村景観を撮ろうと思うて行ったら、なぜか色が違う。輪作があるからだよと都会の人たちにも教えて頂きたい。JAの力であればできるのではないかと思っている。

消費者に選ばれる北海道 産入りの加工食品

単身者の世帯数が全国平均で戸数として3割以上ある。生鮮食品に使う食料費が非常に少なくなっており、外食、外食以外の中食、調理済み食品に食料支出の44%を使っているのが2013年度の統計に出ている。



加工食品を食べている人たちが、どれだけ日本のものや道産のものを意識してくださるかが非常に重要。

JAグループが一丸となって、「北海道産を使っているカップ麺」、とか表示なり宣伝文句をつけて、その分、仮に外国産の材料より10円高くても買う、という消費者を増やしていかねければならない。

北海道の目指す農業、農村の姿というところで、550万人と共にということとは大変すばらしい。実現できるような、私たちも消費者の一人でもあるので力になれたらと思っている。

力強いだけでなく、今まで農業を続けられたご年配の方たちが、「自分の人生はこれで良かった」と思つような農村を作ってほしい。力強い農業・農村には、そのことも含んでいることを意識して頂きたい。Aコープの買い物支援も含めて地域の人たちを守る、地味だけどJAだからできることをぜひ忘れないでやって頂きたい。

最後に一言

再生産できる価格で買って頂いて農業が続けられ、農村を守るために補助金を出してもらおう。国民のコンセンサスを得られるための啓蒙活動をして頂きたい。

JAグループを含め農家を守るということが、道民の健康や生活を守っていることを分かってもらうようにすることが、サポーターを育てるといふことだと思つ。農業に対する理解がない人たちが誤解なく農業を理解して下さるようこれからも頑張りたい。

美瑛産品がミラノ博に



ミラノ博にて開催の「北海道の日」

紹介されました！

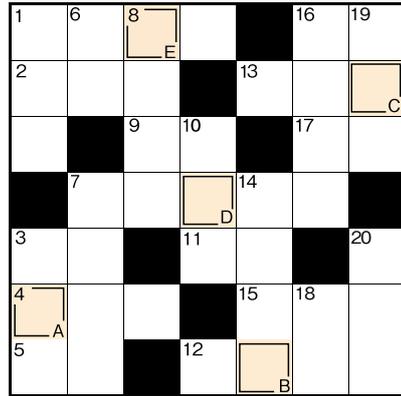
昨年実施された「ミラノ国際博覧会」では、食の祭典としてアイヌ文化や北海道の魅力発信も行われました。期間中開催の「北海道の日」には1万3千人余が訪れ、北海道ブランドの認知度アップが進められたところです。

北海道ブランドの1つにJAびえいのフリーストライフ商品「焼きごもも」などが紹介され、報告書にまとめられています。美瑛ブランドは世界に向けて発信されています。

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA-Eの順に並べ
 てできる言葉は何でしょうか?



▶EITのガキ

- ① 4月29日は国民の祝日、一日です
- ② さおやリール、浮き、糸など
- ③ ななつ、やっつ、ここのつ、
- ④ お坊さんの作業着 それ以外の人も
- ⑤ 玄関や金庫の扉に掛けるもの
- ⑦ 山菜をたくさんもらったので、隣近所へ——した
- ⑨ えんぺらがある生き物
- ⑪ 髪をとかすのに使います
- ⑫ チョークで字や図を書きます
- ⑬ 時代劇の俳優はたいてい頭に着けています
- ⑮ ——のクローパーは幸せを呼ぶそうです
- ⑯ 真珠を救えるときに使う言葉
- ⑰ 琵琶湖の——はオオナマズ?

▼タテのカギ

- ① 危険を感じると切って逃げるトカゲもいます
- ② 鶏の頭に付いています
- ③ 腕に——をかけて料理を作った
- ⑦ ビールの原料によく使われる穀物
- ⑧ ホーホケキョと鳴きます
- ⑩ スピードを上げること
- ⑭ 日本風の料理のこと
- ⑯ 話し声が周囲にすっかり漏れている状態
- ⑰ 緊張した時にゴクリと飲み込む
- ⑱ 髪をとかすのに使います
- ⑳ この上で白い石と黒い石が戦います

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】

● ハガキ

うら

- ① クイズの答え
- ② 今月号の良かった内容
- ③ 取り上げて欲しい内容
- ④ その他ご意見・ご感想など
- ⑤ 住所氏名・年齢・電話番号

おもて

〒071-0298
 美瑛町
 中町2丁目6-32
 JAびえい「丘の大地」
 クイズ係

- FAX 0166-92-2977
 - Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp
- 【締め切り・発表】
 毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

1	モ	6	ソ	ク	13	17	ツ
2	チ	ン	レ	ッ	14	イ	チ
3	ツ	メ	10	キ	12	ボ	シ
4	モ	7	ミ	ト	ウ	15	オ
5	ウ	ズ	マ	キ	16	ギ	フ

☆先月号のこたえは『ヨモギモチ』でした

こたえ・当選者

☆当選者は

相三鎌佐佐
 沢上田藤藤
 すみ光莉寿
 さんさんさん
 さんさんさん

おめでとーござります。

※応募の際にご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見・感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

3月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】穏やかな心境で過ごせる期間。自分から積極的にサービス精神を発揮して、周囲との和を大切にすると幸運あり。
 【健康運】次第に回復。スポーツを楽しむとグッド
 【幸運を呼ぶ食べ物】 アシタバ

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】好奇心が旺盛になっています。新しい趣味を始めたり、体験教室に参加したりすると良い刺激に。小旅行も幸運
 【健康運】適度に体を動かせば元気に過ごせそう
 【幸運を呼ぶ食べ物】 ウド

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】思うようにならないことが増えるかも。でも、イライラせず、笑顔で心掛ければ好転の兆し。お花見も開運に
 【健康運】疲れをため込みやすいよう。休息が必須
 【幸運を呼ぶ食べ物】 カブ

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】前向きな気持ちになれるはず。未体験ジャンルにも果敢に挑戦を。知りたいことについて情報収集するのも最適
 【健康運】オーバーワークに注意。体調管理が大切
 【幸運を呼ぶ食べ物】 セリ

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】あれこれ考えすぎてしまう傾向に。あまり難しく捉えず、気楽に構えた方が正解。気晴らしには散歩がお勧め
 【健康運】徐々に好転。アウトドアで英気を養って
 【幸運を呼ぶ食べ物】 タマネギ

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】小さな悩みが生まれやすい気配。信頼できる相手に話を聞いてもらえば、気持ちも楽になりそう。考えすぎはNG
 【健康運】栄養バランスに気を使うと体調に好影響
 【幸運を呼ぶ食べ物】 サヨリ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】やたらと口うるさくなりがち。周囲の嫌な面ではなく、長所を見るように意識して。気分転換には読書がベスト
 【健康運】軽く運動することで体調を整えられます
 【幸運を呼ぶ食べ物】 デコポン

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】前向きになれる時期。やりたかったことを楽しむのに向いているので、意欲的な行動を。イベントへの参加も吉
 【健康運】小まめに動くと、ストレス発散効果大!
 【幸運を呼ぶ食べ物】 ニラ

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】注意力散漫気味。慣れた作業でミスを連発するなど、問題を起こしやすいので、冷静に。深呼吸で気合いを入れて
 【健康運】無理は禁物。休憩と気分転換を徹底して
 【幸運を呼ぶ食べ物】 フキのとう

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】人気運が高まり、気付けば自然と話の輪の中心にいるはず。気になる相手がいるなら、フランクに話し掛けて
 【健康運】生活が不規則に。リズムを取り戻すこと
 【幸運を呼ぶ食べ物】 ミツバ

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】気分的にゆったりできそう。好きなことを満喫してプライベートタイムを充実させましょう。片付けもラッキー
 【健康運】上昇傾向です。マッサージで血行促進を
 【幸運を呼ぶ食べ物】 ヒジキ

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】自分に自信が持てる月。温めていたプランは、ぜひ実行してみた。協力に恵まれ順調に発展していく予感
 【健康運】リラックスすることで調子が上向くはず
 【幸運を呼ぶ食べ物】 ワラビ

担い手後継者 研修助成事業

町では、担い手後継者の修学（北海道立農業大学
校、拓殖大学北海道短期大学環境農学コース、富良
野緑峰高校農業特別専攻科）に要する費用について、
年間60万円×2年を限度に助成しています。平成
27年度の申請がお済みでない方、または平成28
年度から修学予定の方は、美瑛町農業振興機構（J
A2階）までお知らせください。

窓口 美瑛町農業振興機構 ☎ 92-2855

夏タイヤの早期予約で 組替・バランス調整をサービス

5月31日まで

オートサービスセンターでは、夏タイヤの早期
予約を受け付けています。

5月31日までにご予約された方は、タイヤ
組替、ホイールバランス調整をサービスさせていた
だきます。（トラック等は除く）詳しくは、オート
サービスセンターフロントにお問い合わせ下さい。

*アロックVIP会員は店
頭給油が1円/ℓ 6ヶ月
間（70ℓ/月まで）値引
になります



窓口 オートサービスセンター ☎ 92-2156

JA Biei Information



農機協

家族みんなで取り組もう 農作業安全！！

平成27年度 農作業事故発生状況
（農業労災対象申請分）

平成27年2月1日～平成28年1月31日（一年間）

◎農作業事故件数22件（特別加入19件、出面3件）
前年19件（特別加入15件、出面4件）

上記事故件数の内 入院7件（特別加入7件、出面0件）
前年 入院3件（特別加入2件、出面1件）
死亡 0件
前年 0件

◎事故発生状況 挟む・巻き込み3件、火傷1件、強打7件
切傷2件、腱の断裂1件、転落7件
家畜による事故1件

窓口 研修センター ☎ 92-0588

アルーダ JA びえい 「売りたい遊休農機」「買いたい 中古農機」ありませんか？

中古農機常設展示場『アルーダJAびえい』では、2016年のオープンフェアを4月8日(金)に開催いたします。

オープンに向けて皆様の「売りたい中古農機」「買いたい中古農機」の情報を収集し、より一層の流通促進を図りたくご協力お願い致します。

なお、お申込は、別紙折込の申込書でも受付致しておりますのでFAXでお申し込み下さい。

詳しくは研修センターまでお問い合わせ下さい。



研修センター

窓口

☎ 92-0588 FAX 92-3914

平成28年度とまと生産部会 新役員名簿の訂正について

本誌「丘の大地2月号」に掲載の「平成28年度とまと生産部会新役員名簿」におきまして一部誤りがございました。ここに改めてご案内させていただきます。

役職名	氏名	住所
部会長	中村 俊之	旭第4
副部会長	寺口 方水	原野4
//	大井 徳和	旭中央
理事	鴻上 昌宏	旭第6
//	庄野 美桂	旭第4
//	野村浩太郎	原野2
//	下司 和宏	置杵牛協英
//	久保倉克典	下宇朝日
//	代田 康宏	朗根内
//	吉岡 紳一	美沢早崎
//	横山 工	中富良野町
監事	内藤 洋仁	新星2
//	松原 直巳	中宇聖和

FARM LANDからのお知らせ



ロックオンカプラ

グリスニップルとの脱着がワンタッチになります
 お持ちのグリスガンの先端を交換するだけ
 フレキホース長さ 450 ミリの商品

¥1,500 にて別売

※ヤマダ マイクロホースには付替え出来ません

¥4,500 (税別)

ファームランド
FARMLAND JAびえい店

窓口

☎ 92-3455 FAX92-3488



投込ヒーター

種籾の温湯消毒に加温した水でビート・トマト・水稲の散水用に

0℃～40℃温度調整付

BCT-1110 100V・1KW

BCT-1210 200V・1KW

¥38,000 (税別)

平成28年度 美瑛町農業協組合 人事異動

平成28年2月15日付

発令部門	氏名	現在部門
(管理職/部長職)		
信用担当理事 兼務 金融部部长	加藤 護	信用担当理事 兼務 金融共済部部长
共済部部长	近藤 和文	金融共済部 貯金共済課課長
総務部付部長 (美瑛選果・美瑛アグリサポート係出向)	佐々木一誠	営販統括部長
総務部付部長 (美瑛町農業振興機構出向)	渡辺 隆史	総務部付部長 (美瑛選果出向)
販売部部长	鈴木 勝也	総合企画部部长
畜産部部长	渡辺 和也	管理統括部長
施設部部长	中橋 勇治	販売部部长
(管理職/課長職)		
総務部 管理課 課長	神子素賢一	購買部 農業機械課 係長
総務部付課長 (美瑛選果出向)	加藤 正樹	総務部付係長 (美瑛選果出向)
金融部 経済対策課 課長	高橋 正明	総務部付課長 (美瑛町農業振興機構出向)
共済部 共済課 課長	佐藤 要	金融共済部 貯金共済課 係長
営農部 営農支援課 課長	平間 尚貴	金融共済部 経済対策課課長
営農部 生産振興課 課長	中野 宏	販売部 青果販売課課長
販売部 販売一課 課長	井上 匡史	総合企画部 企画課課長
販売部 販売一課 課長	佐々木昭大	販売部 青果販売課 係長
販売部 販売一課 パッケージセンター長	栢木 貴志	総務部付係長 (美瑛選果出向)
販売部 販売二課 課長	鈴木 紀寿	販売部 青果販売課課長
販売部 経理課 課長	小崎 裕司	営農部 営農相談課課長
販売部 経理課 課長	植田 隆彰	総務部 管理課課長兼監査室係長兼美瑛選果総務課課長
施設部 施設課 課長	野尻 和典	販売部 農産施設課課長
施設部 穀類施設工場長	小山亜紀夫	販売部 穀類施設工場長
(一般職/係長職)		
総務部 管理課 係長	浦島 明美	総務部 管理課 係長 兼 (美瑛選果総務課係長)
営農部 営農支援課 係長	福積 早苗	営農部 営農相談課 係長
営農部 営農支援課 係長	武田 俊彦	販売部 農産施設課 係長
営農部 営農支援課 係長	江花 光春	販売部 青果販売課 係長
営農部 生産振興課 係長 (北海道信連出向)	松田 充浩	総務部付係長 (北海道信連出向)
販売部 販売一課 係長	高橋沙緒里	販売部 青果販売課 主任
購買部 農業機械課 係長	谷口 朋子	金融共済部 貯金共済課 係長
購買部 農業機械課 係長	神藤 陽一	営農部 営農相談課 係長
(一般職/主任職)		
総務部付 主任 (美瑛通運係出向)	安部 千唱	総務部付係 (美瑛通運出向)
金融部 融資課 主任	永澤 詩織	金融共済部 融資課係
販売部 販売一課 主任	中村 英司	総合企画部 企画課 主任
販売部 販売一課 主任	内田 達也	販売部 青果販売課係
販売部 販売一課 主任	天野 瑛	総合企画部 企画課係
施設部 施設課 主任	鎌田 陽	販売部 農産施設課 主任
(一般職)		
総務部 管理課 係	真田 美佳	販売部 農産施設課係
総務部 管理課 係	菅 章貴	総合企画部 企画課係
金融部 貯金課 係	江花 彩	販売部 青果販売課係
共済部 共済課 係	富田めぐみ	販売部 農産施設課係
営農部 営農支援課 係	松下 広樹	販売部 農産施設課係
営農部 営農支援課 係	眞鍋 啓太	販売部 青果販売課係
営農部 営農支援課 係	大谷 麻衣	営農部 営農相談課係
営農部 営農支援課 係	河上 慶太	営農部 営農相談課係
営農部 生産振興課 係	高橋はるか	営農部 営農相談課係
販売部 販売一課 係	中家 良太	販売部 青果販売課係
販売部 販売一課 係	工藤 優佳	総合企画部 企画課係
販売部 販売一課 係	川崎 雄作	販売部 青果販売課係
販売部 販売二課 係	六鹿 舞子	総合企画部 企画課係
販売部 販売二課 係	長谷 郁人	販売部 農産施設課係
販売部 経理課 係	宮下 水月	金融共済部 融資課係

理事会のほうこく

第9回理事会 1月29日(金)

■議案審議事項

- 議案第1号 平成28年度運営方針及び部門別方針(案)について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第2号 子会社に対する貸付について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第3号 平成28年度販売・購買手数料率の設定について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第4号 平成28年度J A内部監査に係る年間計画書の策定について
 ・原案どおり承認されました。

■協議事項

- ①平成28年度振興対策組合員の選定について
 ②第61回地区懇談会の開催要領について
 ③組織機構の変更について

第11回理事会 2月19日(金)

■議案審議事項

- 議案第1号 行政庁検査に係る指摘事項改善、対応状況報告について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第2号 平成27年度決算に係る監事会・全国監査機構提出の決算関係書類原案の承認について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第3号 平成28年度事業計画について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第4号 規程類の変更について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第5号 不良債権に係る処理方針について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第6号 出資の減口について
 ・原案どおり承認されました。

■協議事項

- ①名誉組合員への推薦について
 ②役員退職慰労金にかかる特別退職慰労金の支給について
 ③TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別議決について



合併し誕生！福富三愛農事組合

地域の輪 大きく

地域の農事組合が大きくなってスタート。福富・三愛地区の集落組織が合併し「福富三愛農事組合」が誕生。1月27日関係者で設立祝賀会が行われました。開会挨拶に立った木本農事組合長は、「以前の福富三愛地区での戸数は100戸以上あったものの、今では約80戸。農家戸数が20戸となった。合併を機に農事組合としての道標が果たせることを願います」と述べました。

J A熊谷組合長は、農業振興計画を進める地区の統合について、「現実の話となると難しい点が多々あって容易でないところがあるもの」とし、合併に際した関係者の労をねぎらいました。



協同のちから

- ◇貯金高 241億5千万円 ◇組合員数 正組合員 741人
 ◇貸付高 60億1千万円 准組合員1,861人
 ◇出資金 11億0千万円
 ◇固定資産 38億1千万円 (平成28年1月末)

編集後記

▶糖質制限ダイエットの流行で米飯が敬遠されている。飽食の時代が叫ばれて久しいが、コメ文化に支えられているものにとっては何とも言えない残念な思いもある。その敬遠されがちなコメほど肥満予防に役立ち健康にも良い主食はないそうである。「ご飯は最強の主食」と題して発刊された本の第1章に「ご飯を食べれば病気にならない。ざっくり言うとご飯が6割でおかずが4割」という。ご飯をしっかり食べるのが理想的だとあり、その通りだと思う。食が乱れば健康も乱れる。何をどう食べるか現代ほど問われる時代はないそうである。

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

(2月20日現在)

発生件数	1件 (1件)	《1件》
負傷	1人 (1人)	《1人》
死亡	0人 (0人)	《0人》

() は28年度累計 《 》 は昨年同期累計

こよみ

3月の主な行事予定

3日(木)	地区懇談会(4日)
19日(土)	美進小学校閉校式
20日(日)	春分の日
21日(月)	振替休日
23日(水)	満値喜市(24日)

